



人生 100 年、誰もが学び続けられる拠点 「ゆるっと」

(仮称) 人生 100 年の学びの拠点の愛称決定！

本年 6 月に募集した新施設の愛称は、応募された 110 件の中から「ゆるっと」に決定しました。

この愛称は、「人生 100 年、誰もが学び続けられる拠点」というコンセプトを、堅苦しくなく日常の言葉で表現でき、気軽に立ち寄れる学びの場をイメージできる点が評価されました。また、子どもから若者や大人まで誰もが親しみやすく、「ゆるっと過ごそう」「ゆるっと行ってみよう」など、会話に自然に溶け込む言葉となることが期待されています。

この「ゆるっと」という愛称とともに、世代を超えて人が集まり、中頓別町らしい学びの拠点として成長していくことを目指します。

『中頓別学園』と連携した、町の新たな交流や活動の拠点

新施設は、町民の皆様が集い、学び、交流する地域全体の学びの拠点となるよう、運用ルールや利用方法について検討を進めています。

本年 4 月に義務教育学校として開校した「中頓別学園」に、町民センター（教育委員会、図書室、放課後子どもプラン、給食センターの機能がまとまった複合施設として令和 9 年 3 月に完成予定です。

完成後、町民センターや放課後子どもプラン、図書室、給食センターの引越しが順次行われます。中頓別学園が同年 7 月頃の夏休みとなるタイミングで引越しを行い、全ての引越し作業の完了後に新施設がグラントオープンする予定です。

『ゆるっと』ってどんな場所？

「ゆるっと」は、子どもから若者や大人まで、誰もが安心して過ごすことができ、おしゃべりしたり、活動したり、学びながら、

中頓別での生活をさらに楽しく豊かにするための「人生 100 年学びの拠点」として誕生します。これまで町民センターや町内各所の公共施設であったり、ご自宅などのスペースで活発に行われてきたサークル活動や町民活動が、この新しい施設を中心にさらに広がり、深まることを目指しています。

整備にあたっては、町民の皆様の声を大切にしました。文化・スポーツ団体や地域で活動する健康づくり、経済団体など様々なグループの皆様への丁寧なヒアリング、そして「新施設での活動を想像する体験会」と題したワークショップを実施。新しい施設がどのような空間であれば、皆様の活動がより豊かになるのか、共に考える機会を重ねてきました。

「ゆるっと」は、学び、愉しみ、交流、食育、地域活動など様々な機能が一体となった複合施設です。訪れる一人ひとりが、それぞれの目的で、心地よく、楽しく過ごせる場所を目指します。

新施設での活動を想像する体験会の様子



〔クラフトルーム〕で、ネオスピン会活動



〔トレーニングルーム・ホール〕で、運動！



まちの仕事を知るコーナー



まちの歴史を知る展示コーナー

新しい発見と出会いの場「図書館機能」

現在の図書室蔵書 2・7 万冊から 4・0 万冊への充実はもちろん、読書スペースや学習スペースも充実。親子で絵本を楽しめるコーナーや学生が自習したり、大人がゆっくりと新聞を読んだりなど、「本」をきっかけに、新たな知識や趣味の世界が広がります。

安心・安全な食を育む「学校給食センター機能」

中頓別学園の子どもたちへ、安全でおいしい給食を提供します。また、町民の皆様も給食を試食できるよう検討中です。調理コーナーは町民の皆様も利用可能なので、食育に関する講座や、地域食材を使った料理教室など、食に関する様々な活動の場として活用できます。

学びと活動が広がる「特別教室等の共同利用」

学校授業に支障をきたさない範囲で、学園の特別教室を地域との共同利用スペースとして活用いただけます。体育館、音楽室、図工室といった専門的な設備や多目的室を、町民の皆様にも共に活用していただく場として提供します。習い事やサークル活動、会議、講演会など、多様な学びや活動の場としてご利用いただけます。

誰もが「ゆるっと」集える「町のリビング」

施設内には、どなたでも気軽に立ち寄れる交流スペースを設けます。ちょっとした休憩や談笑、地域活動の打ち合わせ、イベントの準備など自由に利用できる場所です。ここから、新しい出会いや交流が生まれることを期待しています。

「ゆるっと」で、中頓別町の未来を共に創りましょう

「ゆるっと」は、義務教育学校「中頓別学園」との連携を通じて、子どもたちの成長を育み、町民の皆様の生涯学習や多世代交流を推進する、中頓別町の未来を支える大切な拠点となります。

誰もが主役となり、それぞれの「やってみたい」が叶う場所として、町民の皆様と共に「ゆるっと」を育てていけるよう、引き続き、工事見学会、町民説明会を適宜開催して、利活用等についてお知らせしていきます。